2011年度

科目名	日本語教育文法研究A		
担当教員	樋口 裕子		
配当	日文1	コード	12008
開期	前期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	日本語教育という視点から現代日本語の文法を考えます。		
目的と概要	<p>授業の目的は、以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語教育に必要とされる現代日本語に関する基礎的な文法知識を修得する。 2. 日本語母語話者が何気なく使っている日本語を分析的に見る態度を養う。 3. 文法を説明する際に必要となる分析的な文章を書く力を身につける。 		
成績評価法	授業時の発言などの平常点(15%)と試験の成績(85%)により評価します。		
テキスト	授業時にプリントを配布します。		
参考書	『はじめての人の日本語文法』(野田尚史・くろしお出版) 『日本語文法ハンドブック』(松岡弘監修・スリーエーネットワーク) 他、授業時に必要に応じて指示します。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	まずは、「文法は面白くない」という思いこみを捨てて授業に参加してください。言葉は使い手があってはじめて生まれます。つまり、自分が主役だと考えることが大切です。授業は基本的に2回で1つのテーマを扱うので、1回目の授業の復習をして参加するとより理解が深まります。		
講義計画			
第1回	オリエンテーションー外国人の視点から日本語文法を考えるということー		
第2回	格助詞について(1)		
第3回	格助詞について(2)		
第4回	動詞の活用について(1)		
第5回	動詞の活用について(2)		
第6回	動詞の自他について(1)		
第7回	動詞の自他について(2)		
第8回	前半のまとめ		
第9回	ヴォイスについて(1)		
第10回	ヴォイスについて(2)		
第11回	ヴォイスについて(3)		
第12回	ヴォイスについて(4)		
第13回	テンス・アスペクトについて(1)		
第14回	テンス・アスペクトについて(2)		
第15回	後半のまとめ		